

**JSDP  
2021  
Web**



## 一般社団法人日本発達心理学会第32回大会ご案内

2021年3月29日(月)～31日(水)  
<http://www.jsdp.jp/jsdp2021/>

参加・発表・企画申込と原稿投稿の  
め切が同時で11月16日です！

### ご挨拶

今、改めて、発達を考える—新しい状況下での発達心理学の構築を目指して

日本発達心理学会の会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第32回大会のお知らせ(第1号通信)をお送りします。

日本発達心理学会の大会は、2020年3月に開催予定だった第31回大会から新たな歩みが始まることになっていました。しかし、直前になって国から大規模イベントの中止・延期・縮小の要請があり、「大会は成立したものとするが、開催期間に会場には参集しない」という苦渋の決断をいたしました。

第32回大会は、すでに学会HPでお示したように、Webによるリモート大会となります。新型コロナウイルスの感染拡大は全世界で止まらず、日本でも再び感染者が急増してきています。多くの専門家は、1918年のスペイン風邪の経験にもとづいて、今年の秋から来年にかけて今回を上回る流行と被害を予想しています。そのような状況で、第32回大会は、学会理事会が大会委員会を組織して開催することといたしました。今後の状況の推移に依存しますが、次の第33回大会は東京学芸大学で大会委員会を組織して、会場を設定して開催することを予定しています。

発達心理学は、時代や世界の状況と常に深く関わっています。第31回大会のご案内(第1号通信)で、大会委員長であった故南徹弘先生がこの30年間の発達心理学の活動を振り返って書かれた次の文は正鵠を射ていると思います。「この30年の間に、発達心理学は、少子高齢化、子育てや虐待といった家庭、家族、親子や友人間の問題、引きこもり、不登校などの問題、さらにiPSとの関連性、IT化、ロボット工学など他分野との結びつきなど多岐にわたるかわり、また日常生活においては経済学などとの結びつきなど、発達心理学と他の研究分野との新しい結びつきが広く深く変化し、それによる方法論の問題も新しく浮上してきました。言葉を変えるならば、発達心理学の日常化の深化と拡大、ということになるでしょうか。」

第32回大会はパンデミック下で開催されます。このご案内(第1号通信)の原稿を書いている間にも長引く梅雨の中で各地に被害が出ています。パンデミックも自然災害も、あらゆる世代の人々の社会経済的営みに決定的といえるほどの影響を及ぼします。例えば、貧困や経済格差の問題が一段と深刻化していますし、人と人のつながりや学び方を根本から変えつつあります。また、科学者の社会的責任の問題が先鋭化してきています。われわれ発達心理学者は、さまざまな角度から、「今、改めて、発達を考える」ことが必要です。そこで、異例ですが、第32回大会は第31回大会のテーマを引き継ぎ、表題に掲げたテーマを設定しました。

Webによる大会開催ということを知り、会員の皆さんは大会参加費がほとんどかからないと期待されたかもしれません。会場の経費がかかりませんので、例年より安く設定しますが、Web開催ならではの経費がかかります。大会委員会の手に負えないことが多くあり、大会運営に必要なシステムやその管理を外注することになります。ご理解くださるようお願いいたします。

はじめてのWeb開催です。大会委員会は手探りではありますが、Web開催のメリット(が何かを見きわめることも含め)を最大限に活かすべく準備を進めています。皆さんの積極的な参加を期待しています。

2020年7月

日本発達心理学会代表理事

氏家達夫(放送大学愛知学習センター所長)

## 目次

1. 送付物一覧	p. 2
2. 会期・会場	p. 2
3. 実施内容	p. 2-10
4. 大会参加の手続き	p. 10-14
5. 大会に関する広報・諸連絡	p. 15
6. 第32回大会および学会に関する連絡先	p. 16

## 1. 送付物一覧 (今回お送りしたもの)

■「大会ご案内」(本通信：第1号通信)

※連絡事項があれば日本発達心理学会大会ヘルプデスクにご連絡ください。

→連絡先E-mail: [jsdp-desk@bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@bunken.co.jp)

※「郵便振替用紙」は同封していません(参加費等の支払いに関してはp. 11の「費用の納入」を参照してください)。

※第2号通信は送付しません。原稿作成要領については大会Webサイトをご参照ください。

## 2. 会期・会場

■会期：2021年3月29日(月)～31日(水)

■会場：日本発達心理学会第32回大会Webサイト

<http://www.jsdp.jp/jsdp2021/>

今大会はWeb開催になります。大会Webサイトにご参集ください。

## 3. 実施内容

本大会では、全プログラムがWeb上で展開されます。対面で行われる大会の雰囲気や会場の雰囲気などを仮想空間につくりませんが、単なる対面の大会の模倣ではなく、まったく新しい研究交流の場の造成を目指しています。今般の新型コロナウイルス感染が終息しても、今後の研究活動の基盤として継続して利用することを旨とした大会になることを祈念しています。

本大会の開催は、従来の大会委員会方式を改め、学会理事会の下に2つの委員会を構成し進めていきます。一つは大会の円滑な運営に関わる大会実行委員会です。もう一つは各種プログラムの企画に関わる大会プログラム委員会です。

本大会の実施内容には、大会プログラム委員会を含め、学会各種委員会等が企画するものと、関連団体または会員が企画するものがあります。次に、それぞれの概要と発表形態、参加方法などについて説明します。

実際には、Zoom等の同時双方向的なやりとりが可能なツールを利用して動画・音声配信されるプログラムと、Webブラウザ等を利用してストリーミングもしくはダウンロードで動画・音声・静止画が配信されるプログラムがあります。詳細は大会Webサイトにお示しいたします(注)。

(注) これまでの年次大会では、参加者（演者、聴衆）が、①同時刻に、②実際に集まる、という原則がありました。が、Web開催となると②の原則がなくなるため、地理的な壁から解放され、研究交流の可能性と自由度は格段に増大します。参加者は、単独でも、グループでも（新型コロナウイルスの影響で、当面は小グループかもしれませんが、将来は大グループも想定されます）、参加が可能になります。さらに、国内だけでなく国外に在住する人にも参加が広がります。具体例として、次のようなものが考えられます。

1. 例1（基本形） 全ての参加者（演者、聴衆）は、Zoomがインストールされインターネット接続された各々のパソコン・スマホ・タブレット等（以下これらを総称して「パソコン」と呼びます）を使って、別の場所で、当該プログラムに参加します。これが基本形になります。
2. 例2（講演・学会主催シンポジウム等） 演者のほとんどが国内の1会場に集まり各自（あるいは共有）のパソコンを使って、一方少数の海外在住の非会員の著名な研究者等が演者として個人のパソコンを使って、それぞれ当該プログラムに参加し話題提供や指定討論の後は聴衆も参加して全体討論を行います。演者以外の聴衆（一部は海外在住者を含みます）は個人またグループで各自のパソコンを使って当該プログラムに参加し、全体討論に加わります。
3. 例3（自主シンポジウム・ラウンドテーブル等） シンポジウム形式の発表で、国内外の演者（5名程度）が各々のパソコンを使って、別の場所から話題提供や指定討論の後は聴衆も参加して、全体討論を行います。例2と同様に、話題提供・指定討論以外の参加者（聴衆）も各地から全体討論に参加することが可能です。
4. 例4（研究発表一口頭発表） 本大会で新設した口頭発表の場合には、ホスト役の座長が司会を務め、発表者はご自分（あるいは共同）の研究を口頭で発表します。Zoomの共有機能を使ってパワーポイントなどでプレゼンテーションを行うこととなります。時間は20分で、その後5分の質疑をしてもらいます。1セッション2時間なので、発表は4つとなり、4つの発表後は聴衆も参加して全体討論を20分実施します（ただし、発表件数などによって時間配分が変更になる場合があります）。
5. 例5（研究発表—ポスター発表） ポスター発表の場合には、Webページ上にポスター（A4で1枚もしくは複数枚）を掲示して発表します。論文集の原稿にもリンクを貼ります。発表者は在籍責任時間（45分程度）に、Zoomを使って、ポスターや論文集原稿を見て訪れた参加者（聴衆）と個別に討論できます。また発表者が不在の際、参加者はメッセージを残し、テキストベースでのやり取りが可能になるような仕組みも用意したいと思います。さらに本大会での新しい試みとしてフラッシュトークを導入します。フラッシュトークとは、発表者が発表内容の魅力をPRするために、口頭発表同様にZoomの共有機能などを使って1分以内（厳守）でスライド1, 2枚を提示し、口頭で発表するものです（1分を超えた場合は強制的に終了となる予定です）。2時間のセッションの冒頭15分程度を用い、セッションを構成する最大15名が順番にプレゼンします。参加者（聴衆）に各研究発表への興味や関心を持ってもらい、自らのポスター発表へ誘い、そこでの議論をより豊かにするための試みです。参加者（聴衆）にとっても、当該セッションの全研究の概要を知ることが可能となり、より深く理解したい面白い研究のポスター発表を訪れるきっかけを得ることができます。

これらはいずれの例においても、全ての参加者間の同時双方向的なやり取りを可能にするため、同時刻にWeb上に集まってインターネット接続された各々のパソコンにインストールしているZoomの利用を想定しています。Zoomの管理運営（Zoomの設定は原則として大会実行委員会が行います）は、一部特別なプログラムを除き、原則として企画者や司会者、ポスター発表者が担うことを予定しています。これに加えて、文字ベースでのやりとりを行うのであれば、同時刻という時間の壁も取り払うことも可能かもしれません（それも検討中です）。その他にも、いろいろな形態があると思います。参加される会員の創意工夫によって、より充実した研究交流が実現することを期待しています。

ただし今後、主として技術的/経済的な問題によって、フラッシュトーク等も含め、上記の様々な例について、修正を余儀なくされることがあるかもしれません。これら各プログラムのより詳細な事項に関しまして、大会Webサイト（<http://www.jsdp.jp/jsdp2021/>）にお示しすることを予定しています。

### 3-1. 委員会および学会等が企画するもの

#### 【1】基調講演

今大会のテーマ「今、改めて、発達を考える—新しい状況下での発達心理学の構築を目指して」を基として、企画いたしました。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

◇講演者：氏家達夫（日本発達心理学会代表理事・放送大学愛知学習センター所長）

演題：今、改めて、発達を考える—新しい状況下での発達心理学の構築を目指して

#### 【2】招待講演

英国心理学会（BPS）発達部門との相互協定により今回お話いただくDr. Jo Van Herwegenを始め、いくつか検討されています。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

#### 【3】大会プログラム委員会企画シンポジウム，ラウンドテーブル

以下のような内容で企画を検討しています。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

- ①パンデミックと発達
- ②ICTと発達（あるいは発達心理学）
- ③日本の発達研究の現状と将来展望
- ④研究倫理に関するワークショップ（研究倫理の諸相（仮））

#### 【4】学会委員会企画シンポジウム，ラウンドテーブル

以下の企画を予定しています。その他、国際研究交流委員会企画シンポジウム（環境——New-normal——への適応を意識したテーマ）を含め、いくつか検討中です。詳細は大会Webサイトおよび大会プログラムでご案内します。

◇各種委員会企画シンポジウム 他

- ①改めて、「10年後」の発達心理学の話をしよう（国内研究交流委員会）
- ②縦断研究が発達心理学にもたらすもの（発達心理学研究編集委員会）

- ③ジェンダー化を解明する一シリーズ：人の多様性を理解し，研究につなげる一(出版企画委員会)
  - ④「地区懇話会・分科会」活動のこれまでとこれから一経常的研究交流活動の活性化の効用と課題一(国内研究交流委員会)
- など

◇関連学会・団体との共催シンポジウム 他

- ①BPS・日本発達心理学会共催ワークショップ 新型コロナ禍での発達心理学の研究方法を開拓する(仮)
  - ②BPS・日本発達心理学会共催シンポジウム
  - ③日本質的心理学会・日本発達心理学会共催シンポジウム
- など

※プログラム委員会，各種委員会，学会の企画の場合は，企画費は徴収いたしません。ただし，日本発達心理学会の分科会や地区懇話会は関連団体となるため，企画費が必要です。

### 3-2. 関連団体または会員が企画するもの

■以下の表に示す4つの種類があります。詳細は表以降の文章をご覧ください。なお今回はWeb大会という特性を活かし，従来に比べて企画費を減額しております。また，詳細は後述しますが，会員による研究発表形式を口頭とポスターの2種類用意しました。多様でたくさんのご企画，発表をお待ちしています。

	【1】 学会関連団体による 企画シンポジウム	【2】 自主シンポジウム	【3】 ラウンドテーブル	【4】 研究発表
1) 企画者	関連団体	会員	会員	会員
2) 発表形態	企画者が出演者を決め，研究発表や討論	企画者が出演者を決め，研究発表や討論	企画者と参加者が自由に討論	口頭発表(新)またはポスター発表で討論
3) 発表時間	120分	120分	120分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭発表120分(発表20分，質疑5分，全体討論20分)</li> <li>・ポスター掲示120分 在席45分</li> </ul>
4) 申込方法	Webサイトから規定の要領でお申し込みください			
5) 論文集割当頁	2ページ	2ページ	1ページ	1ページ
6) 企画費	1,000円	10,000円	10,000円	大会参加費に含む

## 【1】日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- 1) 企画者 日本発達心理学会における分科会や地区懇話会、あるいは臨床発達心理士認定運営機構などの関連団体による企画を想定しています。ここには、理事会および各種委員会による企画は含まれません。
- 2) 発表形態 下記の「【2】自主シンポジウム」と同様
- 3) 発表時間 120分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費 1,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください（昨年度の金額より減額されました）。
- 7) 企画・出演回数：日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムを企画申込できる回数は団体毎に原則として1回とさせていただきます。  
また、出演回数は自主シンポジウム、ラウンドテーブルと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。  
会員・非会員にかかわらず、出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。  
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.14一覧表の注3)に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1回のみ一人分支払うこととなります。

## 【2】自主シンポジウム

- 1) 企画者： 会員
- 2) 発表形態： 企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。  
※会場系のスタッフはつきません。企画者・司会者等、出演者ご自身で管理・運営・進行をお願いいたします。
- 3) 発表時間： 120分
- 4) 申込方法： 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁： 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費： 10,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください（昨年度の金額より減額されました）。

- 7) 企画・出演回数： 自主シンポジウムを企画申込できる回数は1回とさせていただきます。  
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム，ラウンドテーブルと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
※企画者，司会者，話題提供者，指定討論者，ファシリテーターなど，論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず，その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 会員・非会員にかかわらず，企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。  
会員・非会員にかかわらず，出演する場合（司会者，話題提供者，指定討論者，ファシリテーター等），大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。  
※大会論文集原稿提出までに，企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には，企画として認められませんのでご注意ください。  
※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも，p. 14一覧表の注3)に記載のように，大会参加費は大会期間中有効ですので，1回のみ一人分支払うこととなります。

### 【3】ラウンドテーブル

- 1) 企画者： 会員
- 2) 発表形態： 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。  
企画者は参加者に話題を投げかけ，討論を促します。必要に応じて，話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。  
※会場系のスタッフはつきません。企画者・司会者等，出演者ご自身で管理・運営・進行をお願いいたします。
- 3) 発表時間： 120分
- 4) 申込方法： 企画代表者が，Webサイトから，規定の要領で企画申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また，企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁： 大会論文集1ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費： 10,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数： ラウンドテーブルを企画申込できる回数は1回とさせていただきます。  
また、出演回数は日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム，自主シンポジウムと合わせて大会中1人3回までとさせていただきます。  
※企画者，司会者，話題提供者，指定討論者，ファシリテーターなど，論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず，その企画への出演者とみなします。

## 8) 参加費納入

会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の事前納入が必須です。

会員・非会員にかかわらず、企画に出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、大会参加費は原則として大会期間前に支払う必要があります。

※大会論文集原稿提出までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。

※同一の方が複数の発表・企画に出演される場合でも、大会参加費はp. 14一覧表の注3)に記載のように大会期間中有効ですので1回のみ一人分支払うことになります。

## 【4】研究発表

本大会では、Web開催の特徴を活かすべく、2つの研究発表スタイルを用意しました。一つは新設された口頭発表で、もう一つは従来のポスター発表です。発表申し込み時には、これら発表形態のいずれか一つ（どちらでも良いも含む）を、ご自身の希望にしたがって選択してください。

まず口頭発表セッションでは、テーマが類似している複数の演題をセットにし1つのセッションを構成します。そのセッションに参集したWeb上の聴衆の前で、ある程度完結している研究発表を、Zoom等を用いて口頭で行っていただきます。一定時間の口頭発表を行い、それに対する討論を聴衆と活発に行うことにより、じっくりと比較的深く相互に交流することが可能になると考えています。

次にポスター発表セッションでは、従来の会場ではあたり前に存在していたポスターの一覧性・可読性および個別の議論、それぞれを可能にするシステムを用意する予定です。発表者とリアルタイムに口頭でやりとりができるだけでなく、発表者不在時にはメッセージを残せるようなシステムも考えています。

これらの詳細については、大会Webサイトをご参照ください。

### 講演形式の研究発表—口頭発表

- 1) 研究発表者： 責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみです。連名発表者は非会員も可とします。
- 2) 発表形態： 個人が講演形式で口頭にてある程度完結している研究を発表するものです。発表の後、個別の討論を行い、セッションの最後に全体討論を行います。連名発表者も大会に参加し、当該発表セッションの討論に加わることが期待されていますが、在席や大会参加の責任はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- 3) 発表時間： 口頭発表時間は20分、個別討論時間は5分、全体討論時間は20分です。  
※「大会論文集への発表論文の掲載」「口頭発表」と「個別討論、全体討論への参加」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。以上3つの要件について変更、不備・不足があった場合には、大会実行委員会は理事会と協議しその取り扱いを決定し、その決定を学会誌広報欄で報告します。
- 4) 申込方法： 責任発表者が、Webサイトから、規定の要領で発表申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により発表が認められない場合があります。



- 5) 論文集割当頁： 「大会論文集」1ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。  
※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。
- 6) 研究発表費： 大会参加費に含まれます。  
非会員の連名発表者がいる場合も発表費の額が、今大会では同じです。この点、昨年度までと異なります。ご注意ください。
- 7) 発表回数： 責任発表者となれるのは、ポスター・口頭のいずれかにおいて、大会期間中1回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。
- 8) 連番発表 複数名による研究グループが連番発表を行う場合も、責任発表者が各自Webで入力を行い、規定の要領で発表申し込みをしてください。Webでの申し込みの際、「連番発表の希望」チェックボックスにチェックを入れ、すべての連番発表筆頭者の会員番号と氏名を入力するようにしてください。また、論文集のタイトルも連番発表であることがわかるようにご注意ください。

### ポスター形式の研究発表—ポスター発表

- 1) 研究発表者： 責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみです。連名発表者は非会員も可とします。
- 2) 発表形態： 個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。  
事前に提出していただいたポスターパネル原稿（A4で1枚もしくは複数枚の予定）を開始時刻までに掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。ポスターパネル原稿はパワーポイントなどで作成してください。従来の大型ポスターを縮小したものにして、閲覧者が拡大して閲覧できるようにしてください。  
連名発表者も大会に参加し発表することが期待されていますが、責任在席時間や大会参加の責任はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- 3) 発表時間： ポスターの掲示時間は120分、責任在席時間は決められた45分です。  
※「大会論文集への発表論文の掲載」「掲示時間内のポスター掲示」「フラッシュトークへの参加」と「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。以上4つの要件について変更、不備・不足があった場合には、大会実行委員会は理事会と協議しその取り扱いを決定し、その決定を学会誌広報欄で報告します。
- 4) 申込方法： 責任発表者が、Webサイトから、規定の要領で発表申し込みをしてください。  
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。
- 5) 論文集割当頁： 「大会論文集」1ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。  
※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。
- 6) 研究発表費： 大会参加費に含まれます。  
非会員の連名発表者がいる場合も発表費の額が、今大会では同じです。この点、昨年度までと異なります。ご注意ください。
- 7) 発表回数： 責任発表者となれるのは、ポスター・口頭のいずれかにおいて、大会期間中1

## 8) 連番発表

回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。複数名による研究グループが連番発表を行う場合も、責任発表者が各自 Web で入力を行い、規定の要領で発表申し込みをしてください。Web での申し込みの際、「連番発表の希望」チェックボックスにチェックを入れ、すべての連番発表筆頭者の会員番号と氏名を入力するようにしてください。また、論文集のタイトルも連番発表であることがわかるようにご注意ください。

## 4. 大会参加の手続き

### ■はじめに

◇本大会では、大会参加の申込、発表・企画の申込、大会論文集原稿の投稿の〆切を同じ日に設定しました。**手続きの〆切及び一覧表を、p. 13に掲載しています。**

◇すべての手続きは大会 Web サイト (<http://www.jsdp.jp/jsdp2021/>) で行います。

※大会参加に関する問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会大会ヘルプデスクにご相談ください。

➡連絡先 E-mail: [jsdp-desk@bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@bunken.co.jp)

※なお、いずれの申込も、大会 Web サイトでの手続き後、「費用の納入」をもって完了します。

### 【1】大会参加の申込

◇大会に参加し発表や企画を行う会員は、まず「大会参加の申込」を行ってください。

◇〆切は、**2020年11月16日（月）17時**です。

ただし、クレジットカードを利用して費用を納入する場合に限り〆切は11月30日（月）に延長されます。

※あらかじめ2020年度の年会費が納入されていることが必要です。年会費についてのお問い合わせは、会員管理事務局までご連絡ください。

➡連絡先 E-mail: [jsdp-post@bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@bunken.co.jp)

※参加の申し込みは、会員情報管理システムを用いて行われます。会員情報に変更や修正事項がある場合には、参加登録をする際、**事前にマイページにて各種情報の確認・訂正をお願いします。**大会に関する連絡をマイページのものとは別の住所に希望する場合には、会員情報は変更せず、大会参加申し込みの段階で連絡先を変更してください。この場合、会員情報は変更されません。

※発表や企画がなく大会参加のみの場合には、当日までクレジットカードにて大会参加の申し込みができます。ただし、12月1日以降は当日扱いになります。

※非会員についても、今大会は事前の大会参加申込が可能です（この点は昨年度までと異なりますのでご注意ください）。

### 【2】発表・企画の申込

◇「大会参加の申込」終了後、「発表・企画の申込」が可能です。

◇〆切は、**2020年11月16日（月）17時**です。

ただし、クレジットカードを利用して費用を納入する場合に限り〆切は11月30日（月）に延長されます。

◇会員が行う発表・企画の形式は以下の4つです。

- ・関連団体による企画シンポジウム
- ・自主シンポジウム
- ・ラウンドテーブル
- ・口頭発表/ポスター発表

### 【3】大会論文集原稿の投稿

◇発表・企画の申込をした方は、大会論文集原稿を投稿してください。

◇〆切は、2020年11月16日（月）17時です。

ただし、クレジットカードを利用して費用を納入する場合に限り〆切は11月30日（月）に延長されます。

※〆切までに投稿がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

### 【4】費用の納入

◇費用はp. 14の一覧表のとおりです。納入は、原則としてクレジットカードでお願いします。大会Webサイトの指示に従いお手続きください。**郵便振替の場合2020年11月16日（月）までの**期間限定で受け付けます。郵便振替はやむを得ない場合に限り（振込先は受付後の配信メールにお示しいたします）。なお、11月16日を超えると、支払いに関してWeb上で郵便振替を選択することができません。

◇〆切は、基本的に2020年11月16日（月）です。

ただし、クレジットカードを利用して費用を納入する場合に限り〆切は11月30日（月）に延長されます。

※〆切までに参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

※大会参加のみ申し込みの場合も、上記の〆切を過ぎますと、参加費は「当日料金」となります。ですので、必ず11月16日（月）までに（クレジットカードの場合は11月30日（月）までに）納入してください。

### 【5】注意事項：お読みください！

◇関連団体企画シンポジウム／自主シンポジウム／ラウンドテーブル：企画者の費用納入とともに、企画出演者である会員/非会員の全員が大会参加費を納入している必要があります。非会員の出演者についても、大会参加費を事前にお支払いください（この点は従来と異なりますのでご注意ください）。加えて、企画費・大会参加費を納入していない場合、該当するプログラムを公式に開催することができません（企画として認められません）ので、ご注意ください。

◇費用の返却：納入された費用は、事情の如何にかかわらず、原則として返却できません。あらかじめご了承ください。

◇学部生の発表：2021年3月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。ただし、発表申込前までに2020年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。

◇年会費の納入：いずれの発表・企画についても、2021年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2021年3月卒業予定等の学部学生が発表者になる場合も同様です。（定款では、翌年の会費を12月末日までに支払うことになっています。）

◇利益相反の申告：2019年3月16日に行われた社員総会で「利益相反に関する指針」が承認されました。利益相反（Conflict of Interest：COI）とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいいます。「経済的利益関係」とは、研究者が、自分が所属し研究する機関以外の機関との間で給与等を受け取る等の関係を持つことです。

前回大会から、発表者には本会が定めた「利益相反（COI）に関する指針」に基づき（一定の限度を超えた利益相反がある場合に限り）、研究に関わる利益相反の申告を行うことが求められています。該当者が行う具体的手続きの詳細については、後日大会Webサイトにてお知らせします。

## 【6】大会論文集CD-ROMの事前予約購入

◇大会論文集CD-ROMの事前予約の代金は会員4,000円（送料含む）、事前予約以外と機関購読5,000円（送料含む）です。

※大会参加費を納入される方には、大会前に大会プログラムと一緒に1枚送付されますので、それ以外に必要な枚数を参加登録時に併せてご予約ください。

※2021年3月1日以降に大会参加費を納入された場合には、手続きの関係で、会期終了後の送付となります。できるだけ早めの予約参加をお勧めいたします。

◇プレス枚数は予約購入数により決定しますので、機関購読をご希望の場合、事前予約をおすすめします。

◇2020年11月16日（月）までに、下記の事項を日本発達心理学会大会ヘルプデスクにお送りください。

➡連絡先 E-mail: [jsdp-desk@bunken.co.jp](mailto:jsdp-desk@bunken.co.jp)

- ・機関名（領収書の宛先名義）
- ・担当者
- ・連絡先
- ・部数
- ・その他（見積書、納品書、請求書が必要な場合は、その旨を明記してください。）






## 【7】個人情報の取り扱いについて

本大会の申込や問い合わせにより得られた個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。






■各手続きの〆切

2020年9月

(郵便振替：やむを得ない場合のみ)

事前参加申込	開始		11月16日(月)17時〆切
すべての発表・企画申込 (関連団体企画・自主シンポジウム・ ラウンドテーブル・ポスター)	開始		11月16日(月)17時〆切
すべての発表・企画の論文集原稿投稿	開始		11月16日(月)17時〆切
事前参加費・企画費納入	開始		11月16日(月)17時〆切
大会論文集追加購入費等納入	開始		11月16日(月)17時〆切

(クレジット支払いの場合：原則)

事前参加申込	開始		11月30日(月)17時〆切
すべての発表・企画申込 (関連団体企画・自主シンポジウム・ ラウンドテーブル・ポスター)	開始		11月30日(月)17時〆切
すべての発表・企画の論文集原稿投稿	開始		11月30日(月)17時〆切
事前参加費・企画費納入	開始		11月30日(月)17時〆切
大会論文集追加購入費等納入	開始		11月30日(月)17時〆切

※原則の〆切日は2020年11月16日(月)です。ただし、費用の支払い方(郵便振替/クレジット支払い)によって、上記のように〆切日が異なってきます。注意してください。

■大会参加の諸費用一覧（税込、ただし会員参加費・企画費は不課税。昨年度より減額しています）

費用	対象	事前	当日 <sup>1)</sup>	備考	
大会参加費  (大会論文集CD-ROMの代金を含みます。ただし、非会員の学部生を除く。)	一般会員	大会参加のみ	8,000円	9,000円 <sup>3)</sup>	
		大会参加・発表 非会員連名者なし	8,000円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	8,000円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません。 <sup>1)</sup>
	学生会員 <sup>6)</sup>	大会参加のみ	6,000円	7,000円 <sup>3)</sup>	
		大会参加・発表 非会員連名者なし	6,000円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	6,000円	—	非会員連名費は不要。非会員連名者の有無で参加費は変わりません。 <sup>1)</sup>
非会員	一般・大学院生	9,000円	10,000円	2) 3)	
	学部生 <sup>4)</sup>	500円	1,000円	2) 3)	
関連団体シンポジウム企画費	企画申込者	1,000円	—	企画申込者が支払います。	
自主シンポジウム/ ラウンドテーブル 企画費	企画申込者	10,000円	—	企画申込者が支払います。	
大会論文集 CD-ROM	追加購入希望者 <sup>5)</sup>	4,000円	5,000円	CD-ROMのみ。会員、非会員を問わず、大会参加費納入者には1枚送付されます。	
大会プログラム	追加購入希望者	1,000円	1,000円	会員には大会前に1冊送付されます。追加購入される場合の金額です。	
懇親会費	一般会員	—	—		
	学生会員	—	—		
	非会員	—	—		

※※注意※※

- 1) 当日受付：発表・企画の申込をしておらず、事前の参加申込をしていない方でも、当日、Web上で大会参加費を支払うことで参加できます。
- 2) 非会員に関わる費用：非会員が「大会に参加する場合」は、連名発表やシンポジウム／ラウンドテーブルでの出演の有無にかかわらず、大会参加費をお支払いください。事前に大会参加費を納入された場合、会員同様に非会員の皆様にも、プログラムは大会前に送付されます。
- 3) 当日受付の大会参加費は、支払われた日だけではなく、大会期間中（3日間）の参加費となります。
- 4) 学部生の大会参加費には、大会論文集CD-ROMの代金は含まれていません。
- 5) 機関購読は事前販売でも5,000円（税込）となります。
- 6) 日本発達心理学会における学生会員は学部学生・大学院生・研究生です。

## 5. 大会に関する広報・諸連絡

### 【1】 これからの諸連絡

◇2号通信は、送付しません。

◇今後の諸連絡は、すべて大会 Web サイト (<http://www.jsdp.jp/jsdp2021/>) にてお知らせいたします。

◇諸費用の納入は、原則として大会 Web サイトからクレジット決済にてお願いします。

例外としてやむを得ない場合に限り「郵便振替」のご利用は可能ですが、2020年11月16日までにしか利用はできません。ご注意ください。なお振込先は、参加申込の完了時に配信されるメールに記載いたします。

### 【2】 日本発達心理学会・会費の納入

◇第32回大会で研究発表をする場合には、2020年度の会費を参加申込の前までに、2021年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表や出演の権利を失うことがあります。

◇会費については、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。

→連絡先 E-mail: [jsdp-post@bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@bunken.co.jp)

### 【3】 日本発達心理学会への入会

◇日本発達心理学会に入会していない方が会員（一般会員／学生会員）として研究発表を行うためには、参加申込の前までに2020年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申込後、入会承認手続きが行われます。

◇入会申込 URL は、<http://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html> です。

◇入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。

→連絡先 E-mail: [jsdp-post@bunken.co.jp](mailto:jsdp-post@bunken.co.jp)

### 【4】 その他

(1) 会務報告会、学会賞・国際奨励賞 授与式

◇会務報告会および各賞の授与式を行います。

◇大会2日目：3月30日（火）を予定しています。

◇詳細は大会 Web サイトおよび大会プログラムにてご案内いたします。

(2) 懇親会

◇日時：大会2日目：3月30日（火）18時30分～

◇会費：不要

◇どのような形で開催できるか、検討中です。申込方法なども含め、詳細は大会 Web サイトおよび大会プログラムにてご案内いたします。

(3) 書籍および機器の展示

◇大会期間中に、会場となる Web 上において書籍や機器の展示を行いたいと考えています。詳細は大会 Web サイトをご参照ください。

## 6. 第32回大会および学会に関する連絡先

---

### 【1】大会総合窓口

◇会場や大会全般に関する質問は、E-mailで大会総合窓口にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第32回大会総合窓口

E-mail: meeting2021@jsdp.jp

第32回大会 Web サイト : <http://www.jsdp.jp/jsdp2021/>

### 【2】日本発達心理学会大会ヘルプデスク

◇大会参加・発表申込、参加費納入に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内

E-mail: jsdp-desk@bunken.co.jp

### 【3】日本発達心理学会会員管理事務局

◇日本発達心理学会への入会、年会費納入状況、会員情報に関する質問は、E-mailで下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会会員管理事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内

E-mail: jsdp-post@bunken.co.jp

TEL : 03-6824-9394

受付時間 : 平日9時～12時, 13時～17時

### 【4】日本発達心理学会事務局

一般社団法人日本発達心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-5平清ビル401

E-mail: office@jsdp.jp

FAX : 03-5840-9338

学会 Web サイト : <http://www.jsdp.jp/>